

公開討論会／「〈解釈の見直し〉による 集団的自衛権の行使容認問題を考える」

自民党・安倍政権は、現行憲法下での「〈解釈の見直し〉による集団的自衛権の行使容認」を果たそうとしています。〈解釈の見直し〉による行使容認は「何ら問題はない」というのが、安倍首相や石破幹事長の考え方です。

これに対して、行使容認は事実上の9条改憲であり、その是非は主権者・国民にしか決められない（国民投票の実施による）のに、これを〈解釈の見直し〉で行うのは政府の越権行為。立憲主義を侵すものだという批判が、内閣法制局長官経験者や枝野幸男議員らから出ています。

報道機関の世論調査では「〈解釈の見直し〉による集団的自衛権の行使容認」への賛否が拮抗していますが、この問題について十分な理解をしている国民は少数にとどまっています。そんな状態で、国会の多数派により（国民投票での承認を経ることなく）事実上の「9条改憲」がなされようとしているのです。

この公開討論会では、日本が「集団的自衛権」を行使することが善いのか悪いのかという議論ではなく、行使容認を〈解釈の見直し〉で決めることについての善し悪しを議論します。これは、[国民主権・立憲主義]と[間接民主制・解釈改憲]というものを考える上でとても重要な問題です。どうかこの討論会の意味を御理解いただき、ご友人・お仲間、お誘い合わせの上、会場にお越しください。

日時：10月5日（土） 15:00～17:00

会場：全国町村会館 第1会議室（永田町駅3番出口徒歩3分）

登壇者：阪田雅裕（元内閣法制局長官）

船田 元（自民党憲法改正推進本部長代行）

枝野幸男（民主党憲法総合調査会長）

小林 節（慶應義塾大学教授）

今井 一（ジャーナリスト）

参加費：1000円（資料代込み）※定員70人

※参加申し込みは9月30日までにメールかFAXで下記あてにお願いします。

主催：[国民投票／住民投票] 情報室

後援：デモクラTV（インターネット放送）

連絡先：ref@clock.ocn.ne.jp